旭川市水道局週休２日工事（水道工事）実施要領

１　適用

水道施設整備費に係る歩掛表（国土交通省）に基づき積算する水道工事で，旭川市水道局週休２日工事実施要領（令和７年２月２７日改定)によることができない工事に適用する。

２　用語の定義

（１）　週休２日

対象期間において，４週８休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

（２）　週休２日交替制

対象期間において，技術者及び技能労働者などが交替しながら４週８休以上の休日確保を行ったと認められる状態をいう。

（３）　対象期間

契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間のことをいう。

なお，年末年始６日間（12/29，30，31，1/1，2，3）及び夏季休暇３日間（8/13，14，15），工場製作のみを実施している期間，工事全体を一時中止している期間のほか，発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（請負人の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

（４）　現場閉所

巡回パトロールや保守点検等，現場管理上必要な作業を行う場合を除き，現場事務所での事務作業も含めて１日を通して現場作業を行っていない状態をいう。

（５）　工事着手日

実際の工事のための現場における準備作業（現場事務所等設置や測量等）に着手する日をいう。

（６）　工事完成日

後片付け作業（出来形測量や現場事務所，保安施設等の撤去等）が全て終了した日をいう。

（７）　４週８休以上の現場閉所

対象期間内の現場閉所の日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が 28.5%（8 日/28 日）以上の水準に達する状態をいう。また，降雨，降雪等による予定外の閉所日についても，現場閉所日数に含めるものとする。

《現場閉所率の算定方法》

○現場閉所率の算出は，以下の式とする。

Ｋ（％）＝ Ａ／（Ｂ－Ｃ）

※　Ｋ：現場閉所率（％）

Ａ:現場閉所日数(ただし夏季休暇３日間及び年末年始６日間の期間分を除く)

Ｂ：週休２日確認対象期間日数

Ｃ：Ｂのうち，夏季休暇３日間及び年末年始６日間と重複する日数

（８）　４週８休以上の休日確保（交代制）

対象期間内の技術者や技能労働者などの平均休日日数の割合（以下「休日率」という。）が，28.5%（8 日/28 日）以上の水準に達する状態をいう。

3　対象工事

対象は水道施設整備費に係る歩掛表（国土交通省）に基づき積算した水道局が発注する工事（災害復旧工事含む。）とし，次のいずれかの方式を基本とする。

（１）　週休２日工事

現場閉所が可能な全ての工事を対象とする。

（２）　週休２日交代制工事

社会的要請や時間的な制約などにより現場閉所を行うことが困難な工事については，交替制により休日の確保を推進する。

ただし，緊急工事など交替制も困難な工事など，週休２日による施工の実施に適さない工事は除くことができるものする。

また，対象工事の工期は，準備・後片付け期間や不稼働日（休日，降雨・降雪日，その他の要因による作業不能日）を適正に見込んだものとする。

4　発注方法

発注者指定型での発注とし，受注者は契約後，週休２日による施工を行わなければならない。

5　補正方法

当初予定価格から４週８休を前提とした経費の積算を行い，現場閉所の達成状況の結果，４週８休に満たない場合は減額の設計変更を行う。なお，補正係数については，別紙７のとおりとする。

6　実施における留意事項

（１）　週休２日の確保の取組は，将来の担い手確保，入職しやすい環境づくりを目指すものであることから，週休２日による施工の実施にあたってはその趣旨に沿うよう請負人は努めるものとする。

（２）　週休２日工事に係る各経費の補正は対象期間全体に対する週休２日の達成状況により決定するものとするが，建設業の働き方改革を推進する観点から，請負人は１か月ごとに４週８休以上の現場閉所が達成できるよう努めるものとする。

（３）　工事の実施に当たっては，別紙１のとおりとし，入札公告文及び特記仕様書に当該工事が週休２日工事である旨を記載しなければならない。記載例は別紙２及び別紙３のとおりとする。

（４）　総合評価落札方式において，週休２日の実施に関する技術提案・簡易な施工計画における技術的所見は，加点評価の対象としないものとする。

（５）　請負人は，計画的な休日の取得に努めるものとするが，現場の進捗状況等から降雨，降雪等による予定外の休工日を現場閉所日及び休日とすることも可とする。

（６）　請負人は，地元対応やコンクリート打設後の養生期間，緊急対応など，やむを得ない場合は，監督員と協議のうえ，振替休日等により休日を取得することを可とする。

なお，現場閉所日に現場内の安全確認等が必要な場合は，最低限の人員により対応することとする。

（７） 発注者は，週休２日による施工が適切に実施されているか，必要に応じて請負人への聞き取りや，請負人からの関係書類や休日取得計画（別紙５を参照し，作成したもの。）等の提示により確認を行うものとする。

※関係書類として休日取得計画以外に，日報，出勤簿，作業日誌，安全日誌等が考えられる。

（８） 交替制において，待機日など実際の作業はなくても，現場に戻りうる体制を確保している日は，休日とはしない。ただし，連絡体制のみ確保しており，休日作業が発生しなかった場合は，休日とする。

（９） 交替制において，休日中に作業が必要となる場合，現場代理人（主任技術者又は監理技術者）は，次の対処を執り適切な施工ができる体制を確保することとする。

・現場代理人若しくは次の①②いずれかの者が発注者との連絡体制が確保されていること

①主任技術者（又は監理技術者）（現場代理人と兼務していない場合）

②必要な資格を有する代理の技術者

例）入札条件となった主任技術者（又は監理技術者）相当の基準を満たす者

ア 一（二）級土木施工管理技士又は，これと同等以上の資格を有する者

イ 同種条件における工事の実績を有する者

※共同企業体の場合は，構成員のいずれか１社より配置することも可

(10) 交替制において，一時的に従事した技術者及び技能労働者は確認対象外とする。

一時的に従事した技術者及び技能労働者とは，休日を除いた連続勤務１週（７日）以下の従事者をいう。ただし，連続勤務１週（７日）以下であっても一定期間内で雇用（下請契約）しているなど，断続的であっても従事している技術者及び技能労働者については，対象工事以外を含めた期間中の勤務状況を確認するものとする。その場合については，対象工事で作業従事した開始日より１週（７日）毎を確認対象期間とする。

(11) 発注者は，災害対応等の緊急時を除き，休日の前日などに休日の作業が発生するような指示等は行わないこととする。

８ その他

（１） 請負人は，週休２日工事の検証を行うため，アンケート調査の依頼があった場合は，これに協力するものとする。（※アンケート調査の依頼については，別途通知する。）

（２） この要領に定めのない事項については，必要に応じて発注者と請負人の協議により定めるものとする。

附 則

１ この要領は，令和６年１０月１７日から施行する。

２ この要領は，令和６年１０月１７日以降に公告される工事から適用する。

附 則

１ この要領は，令和７年２月２７日から施行する。

２ この要領は，令和７年２月２７日以降に公告される工事から適用する。

別紙１

週休２日工事（水道工事）実施フロー

週休２日工事発注時

週休２日工事を選定後，入札公告文や特記仕様書等に当該工事が週休２日工事である旨を記載する。

（別紙２及び別紙３参照）

↓

施工計画書提出時

○週休２日工事

請負人は週休２日の計画工程表を施工計画書に添付して，施工協議簿・休日等取得実績調書とともに工事監督員へ提出する。

工事監督員は計画工程表の休日取得計画の妥当性を確認する。

（別紙４参照）

○週休２日交代制工事

請負人は，技術者及び技能労働者などの休日確保状況を証明する方法を具体的に明示した施工計画書を施工協議簿とともに工事監督員へ提出する。

工事監督員は計画工程表の休日取得計画の妥当性を確認する。

↓

工事施工中

・工事監督員は休日が適切に取得されているか，必要に応じて請負人への聞き取りや，請負人からの関係書類の提示により確認を行う。

・週休２日を確保しつつ，天候の不良，関連工事への調整の協力等，請負人の責めに帰すことができない事由により工期を延長する必要が生じた場合は，請負人は工事監督員へ工期延長についての協議を行うものとする。

・週休２日工事の場合，請負人は，現場の閉所状況が確定した際，関係書類を添付した施工協議簿・休日等取得実績調書により，現場の閉所状況を工事監督員に報告する。

（別紙５参照）

・週休２日交代制工事の場合，請負人は，技術者や技能労働者などの休日状況が確定した際，関係書類を添付した施工協議簿により，技術者や技能労働者などの休日状況を工事監督員に報告する。

（別紙６参照）

・工事監督員は，現場閉所の達成状況を確認後，４週８休に満たないものは，補正分を減額変更する。

（別紙７参照）

↓

工事完了後

・工事完了後，請負人を対象としたアンケート調査に協力するものとする。

・工事監督員は従前の施行成績評定のとおり，休日確保の観点で評価を行う。

（別紙８参照）

別紙２

入札公告等の記載について

週休２日工事の入札の公告等には，次の事項を記載すること。

○入札の公告

「１　入札に付する工事の内容」に以下を記載する。
（番号）　本工事は，「週休２日工事」の対象工事である。（番号(番号)を参照）
「番号　その他」に以下を記載する。
（番号）　１(番号)でいう週休２日工事は，発注者指定型であり，請負人は週休２日による施工を行わなければならない。なお，詳細については，下記アドレスのホームページにおいて掲載しているので参照のこと。 https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/（掲載アドレス記載）/index.html

○総合評価方式の入札の公告

「１　入札に付する工事の内容」に以下を記載する。
（番号）　本工事は，「週休２日工事」の対象工事である。（番号(番号)を参照）
「番号　その他」に以下を記載する。
（番号）　１(番号)でいう週休２日工事は，発注者指定型であり，請負人は週休２日による施工を行わなければならない。 ただし，総合評価落札方式において，週休２日の実施に関する技術提案，簡易な施工計画における技術的所見は，加点評価の対象としないものとする。 なお，詳細については，下記アドレスのホームページにおいて掲載しているので参照のこと。 https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/（掲載アドレス記載）/index.html

○指名競争入札の場合

指名通知に以下の別記を添付する。
別記 週休２日工事に係る指名競争入札について この工事は，「週休２日工事」の対象工事であるため，次の事項を承認のうえ，競争入札に参加してください。 １　請負人は，契約後，週休２日による施工を行わなければならない。 ２　実施方法等は特記仕様書によるものとする。

別紙３

特記仕様書の記載について

週休２日工事の特記仕様書には，次の事項を記載すること。

◎記載事項

○週休２日工事の実施について

１　本工事は，「週休２日工事」の対象である。

２　請負人は，契約後，週休２日による施工を行わなければならない。

３　週休２日とは，対象期間において，土日・祝日に関わらず，週休２日（４週８休）以上の現場閉所を行うことをいう。

対象期間は，契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお，年末年始６日間（12/29，30，31，1/1，2，3）及び夏季休暇３日間（8/13，14，15），工場製作のみを実施している期間，工事全体を一時中止している期間，発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（請負人の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は対象期間に含まない。

４　現場閉所とは，巡回パトロールや保守点検等，現場管理上必要な作業を行う場合を除き，現場が閉所された状態をいう。なお，降雨，降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。

５　週休２日（４週８休）以上とは，対象期間内の現場閉所日数の割合（以下，「現場閉所率」）が２８．５％（８日／２８日）以上の水準に達する状態をいう。

６　週休２日の確保の取組は，将来の担い手確保，入職しやすい環境づくりを目指すものであることから，週休２日による施工を実施する請負人は，その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。

７　週休２日の実施の確認方法は，次によるものとする。

（１）　請負人は，週休２日の計画工程表を施工計画書に添付し，施工協議簿・休日等取得実績調書とともに工事監督員へ提出する。

（２）　請負人は，実施結果の関係書類（日報，出勤簿，作業日誌，安全日誌等）を添付した施工協議簿・休日等取得実績調書により工事監督員へ報告する。

８　週休２日の実施状況について，工事監督員が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には，請負人は協力するものとする。

９　現場閉所の達成状況を確認後，４週８休に満たない場合は補正分の減額変更を行う。なお，労務費分が明らかとなっていない単価等については，補正の対象としない。

（１）　現場の閉所状況

ア　４週８休以上

現場閉所率が２８．５％（８日/２８日）以上の場合

イ　４週７休以上４週８休未満

現場閉所率が２５．０％（７日/２８日）以上２８．５％未満の場合

ウ　４週６休以上４週７休未満

現場閉所率が２１．４％（６日/２８日）以上２５．０％未満の場合

（２） 補正方法

当初予定価格から４週８休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。現場閉所の達成状況を確認後，４週８休に満たない場合は補正分を減額変更し，（１）のいずれにも該当しない場合は，補正係数を乗じない。

10 請負人は，「週休２日工事」について，請負人を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。

11 週休２日の実施計画書提出後，当該工事の全体工期については，影響は出ないものの，一部の施工内容・箇所に変更があり，工期内での期限を設ける必要がある場合は，対象期間外とできる場合があるので，受発注者間協議を行うこと。

〇週休２日交代制工事の実施について

１ 本工事は，「週休２日交代制工事」の対象工事である。

２ 請負人は，契約後，週休２日による施工を行わなければならない。

３ 週休２日とは，技術者及び作業員などが交替しながら週休２日（４週８休）以上の休日の確保を行ったと認められる状態をいう。

４ 対象期間は，契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。

５ 週休２日（４週８休）以上とは，対象期間内の平均休日日数の割合（以下，「休日率」）が２８．５％（８日／２８日）以上の水準に達する状態をいう。

６ 週休２日の確保の取組は，将来の担い手確保，入職しやすい環境づくりを目指すものであることから，週休２日による施工を実施する請負人は，その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。

７ 週休２日の実施の確認方法は，次によるものとする。

（１） 請負人は，技術者及び技能労働者などの休日確保状況を証明する方法を具体的に明示した施工計画書を施工協議簿とともに工事監督員へ提出する。

（２） 請負人は，実施結果の関係書類を添付した施工協議簿により工事監督員へ報告する。

８ 週休２日の実施状況について，工事監督員が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には，請負人は協力するものとする。

９ 技術者や技能労働者などの休日状況を確認後，４週８休に満たない場合は補正分の減額変更を行う。

（１） 現場の休日状況

ア ４週８休以上

休日率が２８．５％（８日/２８日）以上の場合

イ ４週７休以上４週８休未満

休日率が２５．０％（７日/２８日）以上２８．５％未満の場合

ウ ４週６休以上４週７休未満

休日率が２１．４％（６日/２８日）以上２５．０％未満の場合

（２） 補正方法

当初予定価格から４週８休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。現場閉所の達成状況を確認後，４週８休に満たない場合は補正分を減額変更し，（１）のいずれにも該当しない場合は，補正係数を乗じない。

10　請負人は，「週休２日工事」について，請負人を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。

11　週休２日の実施計画書提出後，当該工事の全体工期については，影響は出ないものの，一部の施工内容・箇所に変更があり，工期内での期限を設ける必要がある場合は，対象期間外とできる場合があるので，受発注者間協議を行うこと。

休日取得計画の妥当性の確認の施工協議簿について

別紙４

記載例
（計画工程表受理時）

工　事　施　工　協　議　簿

［ 指示・承諾・協議・確認］

工　事　名	○○○○○○○○○工事	工事監督員	総括監督員	主任監督員	監 督 員
		署　　名			
業　者　名	㈱○○○○建設	役 職 名		現場代理人	主任技術者等
協　議　年　月　日	令和　○○年　　○月　　○日	署　　名			

	記載者	内　　容
協議事項	現場代理人 ○○○	週休２日の計画工程表を提出します。 施工計画時における週休２日確保の確認資料として，休日等取得実績調書を提出します。
合意事項	監督員 ○○○	例１） 提出資料により，週休２日が確保されていることを確認しました。 また，計画工程表の内容が適正（妥当）ですので，この工程に沿って工事を進めてください。 なお，施工中に工程変更が必要となった場合は，別途協議します。 例２） 提出資料により，週休２日が確保されていることを確認しました。 計画工程表の内容を確認しましたが，極端に偏った現場閉所日となっているため，均衡の取れた閉所日になるよう調整が可能ですか。 ・可能であれば，計画工程表の再検討をお願いします。 ・調整が困難であれば，この工程に沿って工事を進めてください。 なお，施工中に工程変更が必要となった場合は，別途協議します。

協議簿最終取交し日	令和　○○年　　○月　　○日	協議簿通し番号	ＮＯ．　　○○

休日等取得実績調書

着手前確認時・例

別紙4(参考)

工事名　●●●●工事

契約工期　2024年11月5日　～　2025年3月14日

対象期間　工事の始期　～　工事の完了日

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2024年	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
3 月	計画																															
	実施																															
	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
4 月	計画																														■	
	実施																															
	曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
5 月	計画	休	休	休	休	休	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■
	実施																															
	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
6 月	計画	■	■	■												■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	
	実施																															
	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
7 月	計画	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休
	実施																															
	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	夏	夏	夏	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
8 月	計画	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	休				休	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■
	実施																															
	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
9 月	計画	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	
	実施																															
	曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
10 月	計画	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休
	実施																															
	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
11 月	計画	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	
	実施																															
	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	年	年	年
12 月	計画	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	休	休			
	実施																															
2025年	曜日	年	年	年	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	年	木	金
1 月	計画				■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■												
	実施																															
	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			
2 月	計画																															
	実施																															
	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
3 月	計画																															
	実施																															

〔凡例〕 ■:作業日　休:休工日　(空白):対象外期間

・休工日(休)の合計が、現場閉所日数となる。･･･①
・作業日(■)と休工日(休)の合計が、対象期間日数となる。･･･②
・右記の現場閉所率は、①／②により計算される。
・現場閉所率は、
　4週8休以上:　8日／28日＝28．5･･･%以上

計画時チェック　現場閉所率(%)　＝　現場閉所日数/週休2日確認対象期間
＝　75日/245日
＝　30.612%　→　4週8休以上　･･･　OK

実施時チェック　現場閉所率(%)　＝　現場閉所日数／週休2日確認対象期間
＝　0日/0日
＝　　→

〔週休別現場閉所率〕

4週6休以上 4週7休未満	4週7休以上 4週8休未満	4週8休以上
21.4%以上 25.0%未満	25.0%以上 28.5%未満	28.5%以上

一時中止等，発注者があらかじめ履行の対象外としている期間は空欄とする。
(対象期間外となる)

対象期間は，空欄でよい。
(工事完了後に記入)

施工計画時の対象期間始期は，この場合4月30日となる。

夏季休暇(8月13日～15日)，年末年始(12月29日～1月3日)は対象期間としない。
この期間を作業日とする場合は，その日数分を他の期間で対象期間外とする。

施工計画時の対象期間完了日は，この場合1月19日となる。

ここが，「4週8休以上」となっていることを確認する。

現場の閉所状況報告の施工協議簿について

別紙５

工　事　施　工　協　議　簿

記載例
（履行確認時）

［ 指示・承諾・協議・確認］

工　事　名	○○○○○○○○○工事	工事監督員	総括監督員	主任監督員	監　督　員
		署　　名			
業　者　名	㈱○○○○建設	役 職 名		現場代理人	主任技術者等
協　議　年　月　日	令和　○○年　　○月　　○日	署　　名			

	記載者	内　　容
協議事項	現場代理人 ○○○	本工事における現場閉所状況が確定したので，報告します。 現場閉所状況の確認資料として，休日等取得実績調書を提出します。
合意事項	監督員 ○○○	提出資料により，現場閉所状況(率)を確認しました。 ●４週８休以上の場合 提出資料により、現場閉所状況（率）が４週８休以上であることを確認しました。 当初計上の補正係数と変更ありません。 ●４週８休未満の場合 提出資料により、現場閉所状況（率）を確認しました。 ４週８休未満のため、特記仕様書に基づき、設計変更の手続を行います。

協議簿最終取交し日	令和　○○年　　○月　　○日	協議簿通し番号	ＮＯ．　　○○

休日等取得実績調書

実施報告時・例

別紙5(参考)

工事名　●●●●工事

契約工期　2024年11月5日　～　2025年3月14日

対象期間　工事の始期　2024年11月18日　～　工事の完了日　2025年2月14日

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2024年	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
3 月	計画																															
	実施																															
	曜日	月						日							日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
4 月	計画																														■	
	実施																															
	曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
5 月	計画	休	休	休	休	休	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■
	実施						■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■
	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
6 月	計画	■	■	■												■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	
	実施	■	■	■												■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	
	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
7 月	計画	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休
	実施	■	■	■	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休
	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	夏	夏	夏	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
8 月	計画	休									■	■	休				休	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■
	実施	休									■	■	休				休	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■
	曜日	日									火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
9 月	計画	■									■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■		
	実施	■									■	休	休	■	■	■	■	■	■	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■		
	曜日	火									木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
10 月	計画	■									休	■	■	■	■	■	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	休	休
	実施	■									休	■	■	■	■	■	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	休	休
	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
11 月	計画	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	
	実施	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	
	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	年	年	年
12 月	計画	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	休	休			
	実施	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	休	休			
2025年	曜日	年	年	年	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	年	木	金
1 月	計画				■	■	■	■	休	休	■	■	■	■	■	休	休	■	■	■												
	実施			■	■	■	■		休	休	■	■																				
	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			
2 月	計画																															
	実施																															
	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
3 月	計画																															
	実施																															

実施時の対象期間始期は，この場合5月6日となる。

一時中止等，発注者があらかじめ履行の対象外としている期間は空欄とする。（対象期間外となる）

実施欄の作業日の始期および完了日と一致しているか確認する。

夏季休暇（8月13日～15日），年末年始（12月29日～1月3日）は対象期間としない。
この期間を作業日とする場合は，その日数分を他の期間で対象期間外とする。（実施欄を空欄とする）
この場合は，1月3日に作業を実施したので，その代休を1月7日に取得した例

実施時の対象期間完了日は，この場合1月11日となる。

ここが，「4週8休以上」となっていることを確認する。

〔凡例〕 ■：作業日　休：休工日　（空白）：対象外期間

・休工日（休）の合計が、現場閉所日数となる。･･･①
・作業日（■）と休工日（休）の合計が、対象期間日数となる。･･･②
・右記の現場閉所率は、①／②により計算される。
・現場閉所率は、
　4週8休以上：　8日／28日＝28．5･･･%以上

計画時チェック　現場閉所率（%）＝ 現場閉所日数/週休2日確認対象期間
＝ 75日/245日
＝ 30.612% → 4週8休以上 ･･･ OK

実施時チェック　現場閉所率（%）＝ 現場閉所日数／週休2日確認対象期間
＝ 66日/231日
＝ 28.571% → 4週8休以上

〔週休別現場閉所率〕

4週6休以上 4週7休未満	4週7休以上 4週8休未満	4週8休以上
21.4%以上 25.0%未満	25.0%以上 28.5%未満	28.5%以上

履行確認時 例

平均休日日数の割合（休日率）の算出シート

別紙6

NO.	会　社　名	氏　　名	着手日 から 完成日 までの日数	休日日数	休日日数 の割合	平均
1	株式会社 旭川	旭川 太郎	126	36	28.6%	29.3%
2	株式会社 旭川	旭川 次郎	126	38	30.2%	
3	株式会社 旭川	旭川 三郎	126	36	28.6%	
4	旭川建設 株式会社	旭建 太郎	100	30	30.0%	
5	旭川建設 株式会社	旭建 次郎	100	29	29.0%	
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙７

週休２日工事（水道工事）の経費の補正について

１　週休２日を実施する工事については，次の補正係数を各経費に乗じるものとする。

（１）　現場の閉所状況

ア　４週８休以上

現場閉所率又は休日率が２８．５％（８日/２８日）以上の場合

イ　４週７休以上４週８休未満

現場閉所率又は休日率が２５．０％（７日/２８日）以上２８．５％未満の場合

ウ　４週６休以上４週７休未満

現場閉所率又は休日率が２１．４％（６日/２８日）以上２５．０％未満の場合

（２）　補正係数

	４週６休以上 ４週７休未満	４週７休以上 ４週８休未満	４週８休以上
労務費※1	１．０１ （１．０１）	１．０３ （１．０３）	１．０５ （１．０５）
機械経費（賃料）	１．０１ （　－　）	１．０３ （　－　）	１．０４ （　－　）
共通仮設費率	１．０２ （　－　）	１．０３ （　－　）	１．０４ （　－　）
現場管理費率	１．０３ （１．０１）	１．０４ （１．０２）	１．０６ （１．０３）

（ ）内は，交代制に適用

※１　労務費分が明らかとなっていない単価等については，補正の対象としない。

２　補正方法

当初予定価格から４週８休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じ，４週８休に満たない場合は設計変更にて減額変更し，（１）のいずれにも該当しない場合は，補正係数を乗じない。

別紙８

週休２日工事（水道工事）における施行成績評定の取扱いについて

週休２日の確保の評価は，週休２日を標準としたことから，それ自体の評価を行わない。従前の施行成績評定のとおり，休日確保の観点で評価を行う。

＜成績評定における項目＞

考査項目別運用表　様式－２K④（監督員用）

様式－３K①（主任監督員用）

２．施工状況　Ⅱ．工程管理

様式－２K④（土木用）

工事成績採点の考査項目別運用表

［記入方法］ 該当する項目に１を入れる。

（共通・監督員用）

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2.施工状況	Ⅱ．工程管理	適切である。	ほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	やや不適切である。	不適切である。

該当	評価	「評価対象項目」
		□ 工事の進捗を早めるための取組を行っている。
		□ 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。
		□ 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れがない。
		□ 休日の確保を行っている。
		□ 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。
		□ 適切な工程管理を行い、工程の遅れがない。
		□ 計画工程以外の時間外作業がほとんどない。
		□ 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。
		□ 「施工プロセスのチェック」で指摘事項がなかった。
		□ その他（理由：　　）
		該当項目の内達成項目が９０％以上・・・・・・・・・a
		該当項目の内達成項目が８０％以上～９０％未満・・・b
評価率	#DIV/0!	該当項目の内達成項目が６０％以上～８０％未満・・・c
評定	c	該当項目の内達成項目が６０％未満・・・・・・・・・d
点数	0.0	※評価対象項目が２項目以下の場合はｃ評価とする。

評価	
	□ 工程管理に関して、工事監督員から文書による改善指示を行った。

評価	
	□ 工程管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。

様式－３K①（土木用）

工事成績採点の考査項目別運用表

［記入方法］ 該当する項目に１を入れる。

（共通・主任監督員用）

考査項目	細　別	a	b	c	d	e
2．施工状況	Ⅱ．工程管理	優れている。	やや優れている。	他の事項に該当しない。	やや劣っている。	劣っている。

該当	「評価対象項目」
	□ 気象条件や施工条件などにより特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。
	□ 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。
	□ 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。
	□ 工程管理を適切に行ったことにより、休日の確保や夜間工事の回避等を行い、地域住民の生活への配慮がみられた。
	□ 工程管理に係る積極的な取組が見られた。
	□ 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。
	□ その他（理由：　　）
該当数	0
評　価	c
点　数	0.0

※該当５項目以上…a、３項目以上…b、その他は…ｃとする。

該当	
	□ 自主的な工程管理がなされず、工事監督員から文書による改善指示を行った。

該当	
	□ 請負人の起因により工期内に工事を完成させなかった。（ただし、工事監督員からの改善指示による場合を除く）

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2．施工状況	Ⅲ．安全対策	優れている。	やや優れている。	他の事項に該当しない。	やや劣っている。	劣っている。

	□ 建設労働災害及び公衆災害の防止へ向けた取組が顕著である。
	□ 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。
	□ 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。
	□ 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。
	□ 安全対策に係る取組が工事関係者以外（周辺住民、共用部分使用者、警察署等）から評価された。
	□ その他（理由：　　）
該当数	0
評　価	c
点　数	0.0

※該当４項目以上…a、２項目以上…b、その他は…ｃとする。

	□ 自主的な安全対策がなされず、工事監督員から文書による改善指示を行った。

	□ 請負者の起因により事故が発生した。